

代表質問

自由民主党

中山 幸紀

細田 伸一

つかこしたかのり

かいづ 勉



児童相談所の設置

問 明石市では児童相談所の設置により、出生率の増加等「まちの好循環」を生み出している。そこで、本市においても明石市のように児童相談所を設置すれば、子育て世代に対して、子育てしやすいまちを目指す市の姿勢を伝えることができ、ひいては「まちの好循環」を生み出すことができると考えるが、児童相談所の設置について市の見解を問う。

答 子どもの健やかな成長を守ることは、市にとって欠かすことのできない責任だと認識しており、これからも子育て世代の安全安心に全力で取り組んでいく。一方で、児童相談所については、専門性が高いことや、管轄の範囲が広いことから、県や近隣市との調整等、慎重に検討する必要がある。



障がい福祉サービス事業所での作業風景

時短協力金の申請方法

問 緊急事態宣言が継続する中、千葉県及び政府が行う時短要請に対する協力金の支給に関して、申請書の記入の仕方に戸惑った事業者等がいる。そこで、同協力金の申請について、市はスマートフォンやパソコンに不慣れな人に対してどのような対応をしているのか。

答 千葉県感染拡大防止対策協力金の申請については、パソコンやスマートフォンによるオンライン申請が可能である。なお、パソコン等に不慣れな人への対応については、郵送による申請

ワンストップサービス

問 令和3年1月から、第1庁舎でワンストップサービスが開始され、主に4部6課に関する手続きをワンストップで行い、学校関係に係る一部の手続きは、第2庁舎で行っている。このように、第1庁舎のみで手続きが完了しない状況は、完成されたワンストップサービスとは言い難いと考え、市の見解を問う。

答 現在、全ての部署を第1庁舎に配置することは難しく、手続き等の内容によっては、別庁舎に案内することもあるが、オンライン等で対応すれば、別庁舎に移動せず手続きができるようになる。また、将来的には窓口に来なくても自宅で手続きが済むような仕組みづくりにも取り組む。今後は、ワンストップでできる業務の範囲を拡大し、関連部署の連携・調整を図り、課題を解決しながら、来庁者の利便性を向上させたい。

思い出に残る学校給食

問 コロナ禍において、子どもたちがストレスの溜まる生活を強いられる中、本市では、伊勢海老やサザエ



伊勢海老を使用した思い出に残る学校給食

市民の声を届ける会

かつまた竜大

つちや正順



障がい福祉サービス事業所支援

問 障がい福祉サービス事業所への家賃補助制度が令和3年度に終了することにつき、複数の民間事業者から懸念の声が上がっており、我が会派としても、コロナ

不妊治療費助成事業

問 現在の日本では晩婚化が進み、結婚と同時に不妊治療を開始せざるを得ない

答 事業所への支援として、要綱改正に伴う経過措置が適用される事業所の3年度の貸借料補助額を2年度と同じ水準に維持することを考えている。具体的には、3年度の補助額は、貸借料の10%・月額2万円が上限となる。2年度と同じく貸借料の20%・月額4万円が上限とし、そのための費用約1470万円を当初予算に計上している。

面会交流

問 他市の小中学校の事例として、離婚して親権を喪失した親でも、一定の条件下で子どもとの面会交流が可能である旨が公表されているが、このように、親権を喪失した親や養育していない親であっても面会交流が適切に実施されることは、子どもの健やかな成長

答 本市小中学校等における対応としては、子どもと別居している親から面会希望があったときは、同居している親に確認し、同意が得られない場合には面会をさせていない。また、DVによる避難家庭等からの保護依頼があるときには、所管部署は、子どもの所在確認について「お答えできません」と返答している。今後、国による法改正等があった場合にはそれに則り、適正に対応していきたい。